バンコク日本博2022

会　期：2022年9月2日（金）～4日（日）
会　場：サイアムパラゴンショッピングセンター5階ロイヤルホテルパラゴンホール
主　催：バンコク日本博2022実行委員会／㈱ジェイエデュケーション／パーソネルコンサルタントマンパワータイランド㈱
後　援：在タイ日本国大使館／2025年日本国際博覧会／国際交流基金バンコク日本文化センター／㈱日本貿易振興機構／日本政府観光局／タイ国日本人会
対　象：一般、ビジネス
公式サイト： https://nipponhaku.com

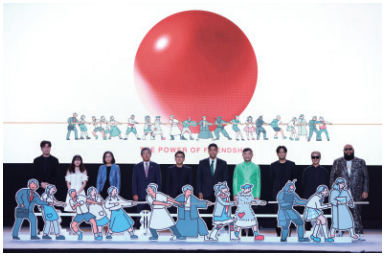
総来場者数（参加数）：93,000人
ビジネスエリアの来場者数（参加数）：49人
　内訳 ：（国内入場者数（参加数）：0人　海外入場者数（参加数）：49人）
出展社数：157社
　内訳 ：（国内出展社数：69社　海外出展社数：88社）
出展参加国と地域数：2の国と地域
バイヤー数：49人
商談件数：15件
プレス社数：103社
　内訳（国内プレス社数：3社　海外プレス社数：100社）

■開催内容

バンコクの中心にあるショッピングセンターのサイアムパラゴンにて、「バンコク日本博2022」を9月2日から9月4日で実施。
トラベル、ショッピング、コンテンツ、食、留学、就職などの日本の魅力を網羅し、日本のコンテンツ力を活用して、集客に活かすとともに、各産業の紹介、タイにおける需要の創出と発展に繋げることを目的としている。

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

・物販の商談会を初めて開催した。実イベントの1週間前にオンラインで行い、出展者の商品を事前に見てもらい、実イベントの際に実際にブースに商品を見に来てもらうことが狙いである。バイヤー側には、高島屋やドン・キホーテ等大手販売先も参加。実際に商流に至ったケースもあった。
・LDH JAPANとタイの大手レーベルHIGH CLOUD ENTERTAINMENTのパートナーシップ契約したことをオープニングセレモニーで示したため、数多くの日本のメディアに取り上げられた。
・ステージで、「盆踊り」を実施。バンコク日本人会の協力の下、多数の日本人が盆踊りに参加。タイ人以外にも日本人に広くこのイベントを知ってもらうきっかけとなった。また、日本人来場者が多かった影響で、「食」のブースがいつにも増して盛況だった。

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

・自治体向けに、現地旅行会社とのビジネスマッチングを実施した。
・タイの大学日本語学科の学生が「日タイ修好135年」をテーマに、これまでにタイで流行った日本のものを紹介する文化祭ブースを出展。各々がブース内で表現することで、タイの大学生に日本を好きになってもらうきっかけ作りをした。